

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 : 35%過酸化水素
供給者の会社名 : 深江商事株式会社
住所 : 大阪市東成区深江北3丁目13番21号
電話番号 : 06-6971-3117
FAX 番号 : 06-6971-1807
推奨用途 : 紙製造用薬品又はパルプ製造薬品、表面処理剤、水系洗浄剤
使用上の制限 : 利用可能な情報はない

2. 危険有害性情報の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

酸化性液体 : 区分2

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分4

急性毒性 (経皮) : 区分4

急性毒性 (吸入: 蒸気) : 区分3

急性毒性 (吸入: ミスト) : 区分4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分2

GHS ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

- 危険有害性情報 : H272 - 火炎助長のおそれ；酸化性物質
H302 - 飲み込むと有害
H312 - 皮膚に接触すると有害
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H331 - 吸入すると有毒
H370 - 臓器の障害
H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
H401 - 水生生物に毒性
- 注意書き
- 安全対策 : P210 - 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P220 - 衣類及び可燃物から遠ざけること。
P260 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 - 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。
P270 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 - 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 - 環境への放出を避けること。
P280 - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 応急措置 : P301 + P330 + P331 - 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303 + P361 + P353 - 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
P304 + P340 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P314 - 気分が悪い時は医師の診察／手当てを受けること。
P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378 - 火災の場合：消火に適した消火方法を使用すること。
- 保管 : P403 + P233 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 - 施錠して保管すること。
- 廃棄 : P501 - 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処

- 理業者に依頼して廃棄すること。
- 他の危険有害性 : 特になし
- 重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 特になし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学物質名	濃度又は濃度範囲(%)	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
水	65%	H ₂ O	7732-18-5	対象外	-
過酸化水素	35%	H ₂ O ₂	7722-84-1	(1)-419	既存

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。直ちに医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類と靴を脱ぎ、直ちに石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚の炎症やアレルギー性反応が起きた場合には、医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の水で洗浄する。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも 15 分間は洗浄しつづけること。直ちに医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断／手当てを受けること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 利用可能な情報はない。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 指定された個人保護具を使用すること。セクション 8 で推奨されている個人用保護具を着用すること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、CO₂、水噴霧、又は通常の泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 利用可能な情報はない。
- 火災時の特有の危険有害性 : 製品は分解すると火勢助長のおそれのある酸素を放出する。
- 特有の消火方法 : 粉末消火剤、CO₂、砂、土、水噴霧又は通常の泡消火剤。人員を安全

- な区域に避難させること。環境への放出を避けること。消火活動からの流去水が排水管又は水路に流れ込まないようにすること。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 指定された個人保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 指定された個人保護具を使用すること。人員を安全な区域に避難させること。その区域を換気すること。
- 環境に対する注意事項 : あらゆる下水道の中、地面上又はあらゆる水域中に侵入させてはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法／機材 : 安全に行えるなら、それ以上の漏出又は漏洩を防ぐこと。砂、土又はその他の不燃性吸収物質に吸収させて回収すること。区域を多量の水で洗い流すこと。
- 二次災害の防止策 : 環境規則に従って汚染された物体及び区域を十分に浄化すること。すべての着火源を排除すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : シャワー、洗眼ステーション、換気システム。特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。指定された個人保護具を使用すること。
- 安全取扱い注意事項 : 取扱い後はよく洗うこと。
- 衛生対策 : 特になし。
- 保管
- 安全な保管条件 : 通気の良い場所で直射日光を避け、出来る限り室内の涼しい場所に貯蔵する。異物が容器に混入しないようにする。製品を密閉状態にしてはならない。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン製容器（缶、ドラムなど）。取扱い及び保管にあたり、分解を促進する材質を使用してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

化学物質名	ACGIH TLV	OSHA	日本産業衛生学会	安衛法 作業環境評価基準
過酸化水素	1 ppm TWA	1 ppm TWA;1.4mg/m ³ TWA	-	-

設備対策	: シャワー、洗眼ステーション、換気システム。十分換気のある場所又は閉鎖型システム内でのみ使用すること。火花を発生させない工具及び防爆型の機材を使用すること。作業又は装置を部分的に包囲すると共に開口部に局所換気（排気）装置を設けることによりばく露を最小限に抑えること。
保護具	
呼吸用保護具	: 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	: サイドシールド付き保護眼鏡（又はゴーグル）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 保護手袋及び保護衣を着用すること。
特別な注意事項	: 特になし。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	: 液体
形状	: 利用可能な情報はない
色	: 無色透明
臭い	: 刺激臭
臭いのしきい（閾）値	: 利用可能な情報はない
pH	: 2.0-3.7 @20°C
融点／凝固点	: -33°C
沸点／沸騰範囲	: 108°C
初留点	: 利用可能な情報はない
引火点	: 利用可能な情報はない
蒸発速度	: 利用可能な情報はない
燃焼性（固体、気体）	: 利用可能な情報はない
燃焼又は爆発範囲	: 利用可能な情報はない
蒸気圧	: 3.07kPa @30°C 23mmHg
蒸気密度	: 利用可能な情報はない
比重（相对密度）	: 1.13 (20/4°C)
水溶解性	: 易溶
溶媒溶解性	: 利用可能な情報はない
オクタノール／水分配係数	: 利用可能な情報はない
自然発火温度	: 利用可能な情報はない
分解温度	: 利用可能な情報はない
動粘性率	: 利用可能な情報はない

粘度	:	利用可能な情報はない
流動点	:	利用可能な情報はない
その他のデータ	:	利用可能な情報はない

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	:	推奨される保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件下では安定。
避けるべき条件	:	高温状態。
混触危険物質	:	塩基性物質（アルカリ性物質）、還元性物質（還元剤）、重金属類（白金、銀、クロム、マンガンなど）及びこれを含有する金属材料。
危険有害な分解生成物	:	酸素。
その他	:	利用可能な情報はない。

11. 有害性情報

急性毒性	:	皮膚に接触すると有害 飲み込むと有害 吸入すると有害 吸入すると有毒
皮膚腐食性／刺激性	:	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
眼に対する重篤な損傷／	:	重篤な眼の損傷
呼吸器感作性	:	利用可能な情報はない
皮膚感作性	:	利用可能な情報はない
生殖細胞変異原性	:	利用可能な情報はない
発がん性	:	

化学物質名	ACGIH	IARC
過酸化水素	A3 - Confirmed Animal Carcinogen with Unknown Relevance to Humans	Group3

生殖毒性	:	利用可能な情報はない
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	:	臓器の障害（呼吸器系）
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	:	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）
誤えん有害性	:	利用可能な情報はない

12. 環境影響情報

生態毒性 : 水生生物に毒性

水性毒性	値	動物種
急性水生毒性 (48 時間)	= 2.43 mg/L	藻類

残留性／分解性 : 利用可能な情報はない

生体蓄積性 : 利用可能な情報はない

土壌中の移動性 : 利用可能な情報はない

オゾン層への有害性 : 利用可能な情報はない

他の有害影響 : 利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄は、適用される地方、国、地域の法律及び規制に従って行う必要がある。

汚染容器及び包装 : この容器を不適切に破棄したり、再利用することは、危険かつ不法である場合がある。

14. 輸送上の注意

	UN/ID 番号	正式輸送品目名	危険有害性クラス	容器等級	海洋汚染物質
IMDG	2014	過酸化水素(水溶液)	5.1(8)	II	該当しない
IATA	2014	過酸化水素(水溶液)	5.1(8)	II	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)

危険物・酸化性の物 (施行令別表第 1 第 3 号)

労働基準法 : 疾病化学物質 (法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1)

消防法 : 非危険物

毒物及び劇物取締法 : 劇物 (指定令第 2 条)

船舶安全法 : 酸化性物質類・酸化性物質 (危規則第 3 条危険物告示別表第 1)

航空法 : 酸化性物質類・酸化性物質 (施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (Y 類物質) (施行令別表第 1)

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令 別表第 1 の 16 の項 (キャッチオール規制品目)

16. その他の情報

この安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の見取りを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。